

令和5年度

## 人権学習会（各務原市と人権擁護委員各務原部会共催）

岐阜人権擁護委員協議会 各務原地区部会

開催日：令和5年11月29日（水曜日）

開催時間：午後1時30分～午後3時45分（午後1時開場 上映時間119分）

場所：産業文化センター あすかホール（各務原市那加桜町2丁目186）

内容：映画「破戒」上映（字幕有）

### 【あらすじ】

瀬川丑松（間宮）は、自分が被差別部落出身ということを隠して、地元を離れ、ある小学校の教員として奉職する。彼は、その出自を隠し通すよう、亡くなった父からの強い戒めを受けていた。彼は生徒に慕われる良い教師だったが、出自を隠していることに悩み、また、差別の現状を体験することで心を乱し、下宿先の士族出身の女性・志保（石井）との恋に心を焦がしていた。友人の同僚教師・銀之助（矢本）の支えはあったが、学校では丑松の出自についての疑念も抱かれ始め、丑松の立場は危ういものになっていく。

苦しみのなか丑松は、被差別部落出身の思想家・猪子蓮太郎に傾倒していく。猪子宛に手紙を書いたところ、思いがけず猪子と対面する機会を得るが、丑松は猪子にすら、自分の出自をカミングアウトすることができなかった。そんな中、猪子の演説会が開かれる。丑松は、「人間はみな等しく尊厳をもつものだ」という猪子の言葉に強い感動を感じるが、猪子は演説後、政敵の放った凶刃により命を落とす。この事件がきっかけとなり、丑松はある決意を胸に、教え子たちが待つ最後の教壇へ立とうとする。



市民一人ひとりが、互いの人権を尊重し、人間としての尊厳をもって暮らすことができる共生のまちづくりを基本理念にして人権教育・人権啓発に関する施策を推進している各務原市と共催で、同和問題に関心をもち、理解と認識を深めるため「人権学習会」を開催しました。

当日は、満席の約400人が参加し、映画「破戒」を通して、不当な差別やあらゆる暴力のない、一人ひとりが大切にされ、幸せを実感できることが大切であることを学びました。



浅野 健司市長の挨拶の後、映画を上演しました